

※ 太枠は重要防除になります。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
12月下旬 ～ 3月上旬	カイガラムシ類		石灰硫黄合剤 7倍
苗木は株枯病抵抗性台木の脇広台を導入する。			
4月	カミキリムシ類 アイノキクイムシ		ガットサイドS 株元から結果母枝まで原液塗布 又は 主幹部に1.5倍塗布 (注 1.5倍塗布はアイノキクイムシのみに登録あり) (収穫7日前まで3回)
注)カミキリムシ類の虫糞が見られたらロビンフッドを使用する(使用時のノズルは使用方法に従う)。			
5月上中旬	ネコブセンチュウ		ネマトリンエース粒剤 2kg/a (収穫60日前まで1回) (樹幹下処理、土壌によく混和する)
6月上旬	アザミウマ類・カミキリムシ類		ダントツ水溶剤 2000倍 (収穫3日前まで3回)
	疫病		Zボルドー 1000倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
注)6月～10月に園内に飛来する、カミキリムシ類の成虫を見つけた場合は直ちに捕殺する。 食入部には6月～10月にロビンフッドを使用する(使用時のノズルは使用方法に従う)。			
6月中下旬	アザミウマ類		スピノエース顆粒水和剤 5000倍 (収穫前日まで1回)
	疫病		レーバスフロアブル 2000倍 (収穫前日まで3回)
7月上旬	アザミウマ類 キボシカミキリ カイガラムシ類	劇	モスピラン顆粒水溶剤 2000倍 (収穫前日まで3回)
	疫病		ランマンフロアブル 2000倍 (収穫前日まで3回)
7月下旬 (梅雨明後)	ヒラズハナアザミウマ	劇	コテツフロアブル 2000倍 (収穫前日まで2回)
	さび病		トリフミン水和剤 2000倍 (収穫前日まで3回) 又は フルーツセイバー 1500倍 (収穫前日まで3回)
8月上旬 (収穫最盛期)	アザミウマ類	劇	スカウトフロアブル 2000倍 (収穫前日まで3回)
	さび病		アンビルフロアブル 1000倍 (収穫前日まで2回)
8月下旬	ハダニ類		マイルトコーネフロアブル 1000倍 (収穫前日まで1回) ダニサラバフロアブル 1000倍 (収穫前日まで2回)
	疫病・さび病		アミスター10フロアブル 1000倍 (収穫前日まで3回)
9月 (秋雨前)	疫病		ランマンフロアブル 2000倍 (収穫前日まで3回)

○アザミウマ対策

5月中下旬から光反射シートを設置することで、アザミウマ類を抑制できる。

○株枯れ病対策

株枯病は土壌病害なので、蔓延防止のため、湛水、かけ流し灌水は行わない。

○疫病対策

- ・雨による泥はねを防ぐため、梅雨入り前に主幹直下を含め敷わら又はマルチの敷設をする。
- ・罹病葉、罹病果は、すみやかに園外に除去する。
- ・落葉、落果などは園外廃棄をする。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」